

# みえ 県議会 新聞

令和6年度(2024年度)NO.1

みえ県議会新聞は、年に2回発行しています。

NO.1では、令和6年8月に開催した「みえ高校生県議会」や議会の仕組みと役割について、次のとおり各紙面でお伝えします。



1 ページ

写真で振り返る「みえ高校生県議会」

2 3 ページ

各校からの質問と答弁を紹介

4 ページ

県議会の仕組みと役割を紹介



本紙は「みえ高校生県議会」特集のため、県内の高校生に配布しています。

## 高校生の声を県議会へ! ~「みえ高校生県議会」を開催~

### 当日の様子

令和6年8月21日(水)、県内の11の高校から34人の高校生が「みえ高校生県議会」に参加しました。1校あたり15分の持ち時間で、県政に関する「もっとこうしてほしい!」や「こうなったらいいのに…」と思うことについて、議員に質問や提案を行いました。

各校からの質問と議員の答弁は  
2面・3面をチェック!



### プログラム

- 10:00 オリエンテーション
- 11:40 オープニング
- 12:00 昼食
- 13:00 各校からの質問と答弁
- 15:55 終了 議事堂見学など

「みえ高校生県議会」とは…高校生が高校生議員として、県政に関する質問を行い、県議会議員が答弁を行う、2年に1回開催する特別な議会です。高校生に議会活動を体験してもらうことで、議会に対する関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくことを目的としています。平成26年に初めて開催し、今回で5回目です。

当日の動画はコチラ



### 「みえ高校生県議会」の本番まで

高校生議員の皆さんは、6月から8月の本番まで議員と打合せを重ねて、議会の仕組みや役割、県の事業について学び、質問を練り上げていきました。



6月上旬  
事前  
説明会

県議会の仕組みや役割をはじめ、参加生徒の皆さんが知りたい「議会や議員の気になること」について、議員が答えました。



原稿作成のための  
調査・情報収集



6月下旬  
事前  
相談会

参加生徒が作成した質問を、「より分かりやすく」、「より自分の意見に共感してもらうために」はどうしたらいいのか?という視点で、議員がアドバイスをを行いました。

「議員から客観的に見た感想や、より深掘りした質問をもらって改善点があった」との感想も。他校の生徒と意見交換をして刺激を受けた方もいました。



8月  
「みえ高校生  
県議会」本番



議員と話をするのは初めて!という方が多く、はじめは緊張した雰囲気でしたが、次第に盛り上がり、最後には「話しやすかった」との感想も出ました。



### 議長



議長とは、議場の秩序を守り、議会の本会議を進行したり、議会を代表しているいろいろな行事に出席したりする人です。今回の「みえ高校生県議会」では、伊勢高等学校と名張高等学校から1人ずつ立候補があり、前半と後半で交代して議長を務めました。議長席は議場の最も高い位置にあり、議場全体を見渡せます。当日は、傍聴やインターネットでの生中継もあり、とても緊張したと思いますが、2人の高校生議長は、しっかりと進行してくれました。

### 参加した高校生の感想

・私たち高校生の質問・提案に真剣に取り組んでもらい、うれしく思います。ここを終わりとせず、三重県に住む一員として、よりよい三重県を創り上げていくためにも、考えを止めず、学び続けたいと思います。

・今回の「みえ高校生県議会」を通じて、発表する事前準備の際に議員の方から助言をもらったり、他校と交流したりして、自分たちの質問内容を深めることができたとともに、普段、街頭演説をされている際やポスター等でしか見かけない県議会議員が身近に感じられました。

・あまり関わりのない県議会について知れたり、興味をもつことができたりして良い機会になりました。

・議員の雰囲気が思っていたより重くなくて、どちらかというと明るめだったのが印象的で、とても良いと思いました。

